

—そして医師になる。



丸の内病院は、生まれてから終末を迎えるまで地域に寄り添う病院です

どのような専門医を目指すにしてもプライマリケアの知識・技術の習得は不可欠です。  
当院は総合病院ではありませんが、少子高齢化社会に対して“総合的”にアプローチしています。



ポイント

丸の内病院はsmall hospitalですが急性期医療とともに地域包括病棟、緩和病棟、在宅診療、サービス付き高齢者住宅運営なども手がけています。  
ジェネラルな視点を持つ専門医師を育成したいと考えています。  
医療最前線の現場として裾野の広い、様々な経験と学びのトレーニングの場を提供します。

### ① “人を診る”ことを大切に

超高齢化社会における新たな臨床研修制度の目標はジェネラルな力を身につけることです。しかし、我々のプログラムはジェネラルプラスαを求めています。例えば、同じ肺炎の患者さんでも生活習慣や年齢、高齢者(人格的に完成された)と若者ではアプローチが全く異なります。医療現場では「疾患」ではなくその患者さんの背景(身体的・心理的・社会的側面)を含めた「人」を診るという点がとても大切です。

### ② 患者さんへのアプローチと知識のイノベーション

現場での学びのアプローチは、集めた情報をどのように生かせるか、知識を横断的に活用できるかどうかが問われます。優れた医師とは、一発診断のできる医師ではなく、どれだけ可能性の高い鑑別疾患名をリストアップできるか、なのです。

### ③ 自分がやりたいことではなく、患者さんが求めることを察知する

われわれのミッションは自分のやりたい治療を患者さんに押し通すことではありません。患者さんの求めることを察知し、人間関係を構築しなければ治療が始まらないのです。そのためには診察という限られた時間の中で医師としてのリアリング力を高めていくことが重要です。  
そして患者さんへの診察を通して、蓄積してきた知識を常にアップデートしていかないとけません。

### ④ プライマリと専門性

医療における専門性は絶対に必要なことです。ただし、その専門的な知識を得る前提として、一般的な知識を持っているかどうかが問われます。ジェネラルとスペシャルが融合しないと、現代の医療現場での問題は解決していきません。専門性を高めながらも専門以外も理解するという双方向性の医療が必要なのです。

### ⑤ チーム医療でコミュニケーション力を身につける

医療は複雑系であり、大切なのはチーム医療という考え方です。なぜなら課題は、医師やスタッフ間のコミュニケーションによって解決していくことが多いからです。分からないことを他の専門医や現場のスタッフに相談していく環境づくりと、その人間関係の中での自分の役割を理解することが大切です。

基本的診療能力を備え、常に医療人としての品性と向上心を持ち、  
医療チームの一員としての行動力、決断力、コミュニケーション能力を持つ。 — 「そして」医師になる。

## プライマリケア

どのような専門医を目指すにしてもプライマリケアの知識・技術の習得は不可欠です。プライマリ領域で求められる必須な内科、外科、救急、整形外科診療、産科、泌尿器科、麻酔科、小児科、在宅診療などの研修を臨床現場での実践を通じ病院全体で支援します。



臨床経験年数7年以上の常勤の医師で、十分かつ適切な指導力を有する指導医が、指導に当たります。また、研修分野によっては、指導医の指導監督の下、上級医が研修医を直接指導する方式(いわゆる「屋根瓦方式」)を採用しています。



## カンファレンス

多職種合同による症例カンファレンスを行っています。

消化器内科・外科カンファレンス  
毎週火曜日  
救急カンファレンス  
毎週水曜日  
第4日曜日翌日の月曜日  
内科カンファレンス  
毎週金曜日  
産婦人科  
毎週水曜日  
CPC  
年1回以上



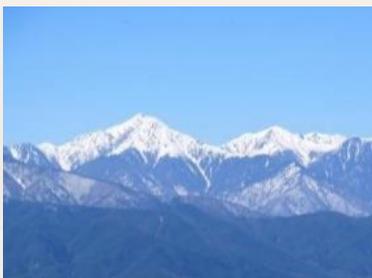
研修医個々の希望に添った弾力的なプログラムを提供し、Small Hospitalならではの指導医と研修医の良好な関係とときめ細かいプログラム運用を行います。医局は合同なので、各科の垣根を超えて相談しやすい環境です。

## 指導医



## 環境

丸の内病院は長野県のほぼ中央に位置する松本市にあり、松本駅から徒歩20分以内、松本ICから車で5分以内の立地です。病院の南側には複合型ショッピングエリアが隣接しています。病院の西側は3000メートル級の峰々が連なる北アルプスを望む自然豊かな場所です。



当院では研修を行いながら子育てができる環境を整えています。病院から徒歩5分の場所に保育所を設置しており、急な残業でも20:30迄お預かり可能です。病児保育室もありますので、お様が病気の時も安心して働けるよう支援しています。



## ママDrも研修できます



# 研修課程



## 研修スケジュール（例）

### 1年次（丸の内病院）

内科系  
(24週)

救急部門  
(12週)

外科  
(8週)

選択  
(8週)

### 2年次（小児科・精神科以外は丸の内病院）

地域医療  
(4週)

産婦人科  
(4週)

小児科  
(4週)  
松本市立病院

精神科  
(4週)  
松南病院

選択  
(36週)

### 選択科目

### 期間

呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、緩和ケア内科、救急科  
麻酔科、外科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、産婦人科  
リウマチ科、地域医療  
小児科（松本市立病院）、精神科（松南病院）

44週

## 初期臨床研修理念



### 初期臨床研修理念

当院の初期臨床研修は、医師臨床研修制度の基本理念に則り、将来目指す専門分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識し、一般的な診療において頻繁に関わる傷病に適切に対応できる基本的診療能力を備え、常に医療人としての品性と向上心を持ち、医療チームの一員としての行動力、決断力、コミュニケーション能力を有する医師を育成するものである。

### 基本方針

1. 医師臨床研修指導ガイドラインに定められた、1) 内科ならびに救急・総合診療科での研修、2) 地域医療研修、3) 外科など各科での診療研修（病棟および外来）の三つの研修を柱とする。これらの研修においては以下に記す知識や能力を習得することを主たる目標とする。
  - ・内科研修  
将来どのような専門医を目指すにせよ内科研修は医師として基盤を形成する必須の部門である。臨床医として必要な内科の手技や診断能力などの基本診療能力を幅広く修得する。
  - ・救急研修  
プライマリケアおよび緊急性を要する救急疾患及び急変時に対する診療を行う。  
他科との連携を適切に実践する。  
様々な課題を抱える個々の患者にとって最善の診療方針を多角的に考察する。  
昼間および夜間での救急対応。
  - ・地域医療研修  
当該地域での医療ニーズを把握する。  
訪問診療などの地域に密着した医療を経験する。  
医療資源の少ない環境での医療を実践する。  
地域包括医療ケアシステムについて理解し、他職種と連携する。
2. 各診療科での研修は、臨床医として必要な手技や診断能力などの基本診療能力を幅広く修得する。また、各専門領域において扱う疾患に関する診療内容を理解し、基本的な疾患に対する診療能力のみならず、各専門診療科へ適切に依頼できる能力を習得することを主たる目標とする。
3. 研修期間を通じ、
  - ・全人的医療とは何かを理解し実践する。
  - ・医師としての責任感・決断力を養う。
  - ・医療チームの一員としての行動力・リーダーシップ・コミュニケーション能力を身につける。
  - ・患者及び医療従事者の双方に安全な医療を遂行できる能力、すなわち、医療事故の未然防止および事後の対応方法を理解する。



プログラム責任者  
副院長 清水幹夫

*Bon voyage!*

COVID-19感染は世界を変えた。わたしたちは、最低限の「必要」だけで生きているわけではない。「不要不急」の無限の拡大は、人の生から本当に必要なものを奪い去りかねない。そしてわたしたちは、「必要なもの」と「不要なもの」の間に、実は、「大事なもの」があることを知った。信頼できる人間関係、安心できる場所、なじみの店、大切な書物や音楽、安心できる街路、四季の風景、澄んだ大気、大切な思い出、そして医療現場。みなさんの熱意が医療や介護の体制を守り抜きます。共に学べる日の来ることを待っています。

## 施設見学随時受付中！

〒390-8601 長野県松本市渚1-7-45  
社会医療法人抱生会 丸の内病院  
事務部総務課 担当：平野

TEL：0263-28-3001（総務課直通）

E-mail [kanri@marunouchi.or.jp](mailto:kanri@marunouchi.or.jp)